

勾玉（まがたま）作りワークシート

Q 勾玉ってなに？

「勾」の字は、①まがる、区切る ②鉤（かぎ）という意味があって「曲玉」と書くこともあるよ。簡単にいえば、曲がった玉のことなんだ。

頭の部分につり下げするための孔（あな）があげられているのがポイントだよ。



孔（あな）



Q どのくらい昔からあるの？

一番古い勾玉は約 7000 年前の縄文時代（じょうもんじだい）のものだよ。はじめはあまり形が整ってなくてやわらかい滑石（かっせき）でしか作れなかったけど、だんだん翡翠（ひすい）のようなかたい石でも作れるようになったんだ。

縄文時代の終わりから翡翠（ひすい）、弥生（やよい）時代にはガラスも加わるよ。古墳（こふん）時代には一番作られていたけど、奈良（なら）時代になると急に作られなくなるんだ。不思議だね。



Q どのように使われていたの？

ひもをとおしくびかざりとして使っていたと考えられるよ。勾玉だけでなく管玉（くだたま）やガラス玉などとも組み合わせられていたことが埴輪（はにわ）などからわかるよ。アクセサリーとしてだけでなく、権力を示すアイテムだったと考えられるよ。そのほか、まじないの道具やお祭などでも使われていたようだよ。種類によっても使い分けられていたようだね。



Q 昔の人はどのように作っていたの？

まず、山や川、海岸などに石をとりにいくんだ。次に、ほどよい大きさに石を割って、砥石（といし）でみがいて勾玉の形を作るよ。その後、石や鉄の錐（きり）で孔をあけるよ。最後に仕上げのみがきをして、ひもを通せば完成だよ。

玉を加工（かこう）していた玉作遺跡では、孔あけの失敗品も多くみられるよ。昔の人も大変だったんだね。



勾玉（まがたま）作りワークシート

Q どんな石が使われたの？



翡翠（ひすい）



水晶（すいしょう）



滑石（かっせき）
勾玉作りでよく使われる石だよ！



碧玉（へきぎよく）



瑪瑙（めのう）



琥珀（こはく）

ほかにもガラスや金属の勾玉もあるよ！



Q 大田区で勾玉は見つかっているの？



ヒスイで作られた古墳時代の勾玉

宝萊山古墳（ほうらいさんこふん）

左：当館蔵、他3点：慶應義塾大学

民族学考古学研究室所蔵

左：長さ26mm



土で作られた弥生時代の勾玉

左：光明寺遺跡（こうみょうじいせき）

中・右：久ヶ原遺跡（くがはらいせき）

左：長さ24mm

大田区では15点見つかっているよ！全国では25,000点以上出土しているよ。

